

令和 8 年 6 月吉日

各教育委員会教育長 様
各国・公・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係者各位

第 65 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
埼玉大会 会長 山本 智広

第 65 回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会のご案内（二次案内）

令和 8 年 11 月 19 日（木）理事会・全体会

20 日（金）授業公開・分科会

研 究 主 題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を育む学習指導の研究」 —問題発見・課題解決と創造する学びを通して—

主 題 設 定 の 理 由

(1) 子供たちは、未来を生き抜く力を身に付けているか？

今から 10 年前、スマートフォンはすでに普及していたが、AI が人の仕事を代替する社会はまだ遠い未来の話だった。しかし現在、AI は日常の様々な場面で活用され、技術革新は生活や産業の在り方を大きく変えつつある。このような予測困難な時代において、子供たちはどのような力を身に付けるべきなのか。答えが決まっている問題を解くだけではなく、自ら問題を見だし、課題を設定し、解決策を考え、社会をよりよい方向へ導く力が必要とされている。

(2) 埼玉県現状と課題

こうした社会的背景を踏まえ、埼玉県においても「未来を切り拓く力」の育成が重要視されている。第 4 期埼玉県教育振興基本計画では、将来の予測が困難な時代において、「社会への主体的な関わり」や「多様な人々との交流」を通じて、新たな価値を創造できる人材を育てることが求められている。

(3) 技術・家庭科が果たす役割

では、このような「未来社会を切り拓く力」をどのように育むべきなのか。その答えのひとつが技術・家庭科である。技術・家庭科では、子供たちが単に知識を得るだけでなく、「試す」「つくる」という実践的な学びを通して、生活や社会の問題を見だし、解決策を創造する力を育むことができる。さらに、子供が学びを自己調整したり、多様な他者と対話をしたりすることができる学びを充実させることで、一人ひとりの発想を尊重しつつ、他者と協力しながらよりよい解決策を生み出す力が育まれる。本研究では、こうした背景を踏まえ、技術・家庭科において技術・家庭科における問題発見・解決的な学習の展開と学習を深める子供の新たな学びの在り方を探究することを目的とする。これにより、子供たちが予測困難な未来社会を自らの手で切り拓いていけるような教育の在り方を明らかにする。

大会開催要項

- 1 主 催 全日本中学校技術・家庭科研究会 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会
- 2 後 援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
＜予定＞ 行田市教育委員会 川口市教育委員会 飯能市教育委員会 深谷市教育委員会
久喜市教育委員会 小川町教育委員会
埼玉県連合教育研究会 (公財) 日本教育公務員弘済会埼玉支部

3 期 日 令和8年11月19日(木) 理事会・全体会 20日(金) 分科会

4 日 程 【第1日】11月19日(木) ・理事会(集会室1)
・全体会(小ホール) ※ともに RaiBoC Hall

10:30	10:45	11:45	13:00	13:15	13:40	14:40	15:40	16:00
理事研修会		休憩	全体会					
受付	研修会		受付	開会式	提案発表 研究協議 (埼玉)	指導助言	閉会式	

【第2日】11月20日(金) 第1～第8分科会 ※時程は分科会ごとに違いがあります。(確認必須)

9:20	9:50	10:40	11:00	11:20	12:20	13:20	13:40	14:40	15:10	15:30
受付	公開 授業	移動 休憩	開会式	提案発表 研究協議 (埼玉県)	昼食 休憩	指導 助言	提案発表 研究協議 (他都県)	指導 助言	閉会式	

【第2日】11月20日(金) 第9分科会

9:20	9:50	10:40	11:00	11:50	12:50	13:10	14:10	14:40	15:00
受付	公開授業 家庭分野	移動 休憩	公開授業 技術分野	昼食 休憩	開会式	提案発表 研究協議(埼玉県)	指導 助言	閉会式	

5 分科会及び会場詳細

全体会・分科会		提案者		会場及び授業者		他都県発表
全体会	技術分野 家庭分野	熊谷市立富士見中学校 草加市立栄中学校	横田 真澄 三浦 憲子	RaiBoC Hall (レイボックホール)		
第1分科会	A 材料と加工の技術	春日部市立緑中学校	鳩貝 拓也	行田市立長野中学校 中嶋 真吾	茨城 群馬	
第2分科会	B 生物育成の技術	戸田市立笹目中学校	鈴木 宏一	川口市立戸塚西中学校 内村 昌史	神奈川 千葉	
第3分科会	C エネルギー変換の技術	川越市立大東中学校	小林 幸典	飯能市立飯能第一中学校 横山 駿也	長野 栃木	
第4分科会	D 情報の技術	深谷市立花園中学校	國本 隆晶	深谷市立岡部中学校 田尻 雅美	東京	
第5分科会	A 家族・家庭生活	川口市立上青木中学校	渡辺 かおり	川口市立戸塚西中学校 大沢 恵美	栃木 長野	
第6分科会	B 衣食住の生活(食生活)	春日部市立飯沼中学校	一條 亜津子	久喜市立久喜中学校 浅川 有樹	神奈川 千葉	
第7分科会	B 衣食住の生活(衣住生活)	深谷市立上柴東小学校	加藤 立樹	深谷市立幡羅中学校 浅見 夏帆	群馬 茨城	
第8分科会	C 消費生活・環境	坂戸市立千代田中学校	高橋 亜沙美	小川町立東中学校 飯島 知佳	東京	
第9分科会	技術分野 家庭分野 教育課程	さいたま市立美園中学校 さいたま市立植竹中学校	清野 耕平 田中 瞳	さいたま市立春野中学校 竹澤 則乃 渡邊 ひろみ	該当なし	

6 大会参加費 ○大会参加費(資料代)・・・・・・・・・・・・・・4,000円

大会事務局	第65回関東甲信越中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会 運営部長 金子 慎一郎(教頭)	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会 事務局 伊藤 誠(教諭)
	さいたま市立慈恩寺中学校 〒339-0002 埼玉県さいたま市岩槻区裏慈恩寺 505 TEL 048-654-5100 FAX 048-654-5115 E-mail sin_kaneko@yahoo.co.jp	春日部市立春日部南中学校 〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野 746 TEL 048-737-2869 FAX 048-734-9417 E-mail saitama.gikaken@gmail.com